

小学・中学・一般 組み合わせ規程

制定	2013.4.1	
改定 1	2014.4.1	改定内容 ①小学 中学のポイントの見直し ②各大会の内容の見直し
改定 2	2015.4.1	改定内容 ①中学のポイントの見直し ②東北大会ポイントの見直し ③平田杯の大会名変更
改定 3	2015.4.1	改定内容 ①カデット13歳以下 14歳以下推薦者のポイントと 推薦者の地区大会参加禁止 ②カデット13歳以下 2部の小学生参加禁止
改定 4	2016.4.1	改定内容 ①中学ポイント見直し ②小学各種大会組み合わせ内容の見直し ③小学ホープス団体の組み合わせ追加

(適用範囲)

- ① 小学生の大会
- ② 中学生の大会
- ③ 一般の大会(対象:社会人)

(適用大会)

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1 中学 | 2 スポ少 | 3 一般 |
| ① 中体連地区総体 | ① 地区ホープス・カブ・バンビ | ① 国体地区予選 |
| ② 中体連県総体 | ② 県ホープス・カブ・バンビ | ② 国体県予選 |
| ③ カデット地区13歳以下 | ③ カデット地区13歳以下 | ③ オールジャパン地区予選 |
| ④ カデット地区14歳 | ④ カデット県13歳以下 | ④ オールジャパン県予選 |
| ⑤ カデット県13歳 | ⑤ 地区ホープス選手権 | ⑤ オール田川シングルス |
| ⑥ カデット県14歳以下 | ⑥ 県ホープス選手権 | ⑥ オール田川ダブルス |
| ⑦ 地区新人戦 | ⑦ オール田川予選 | |
| ⑧ 新人戦北ブロック大会 | | |
| ⑨ 新人県大会 | | |
| ⑩ オール田川 | | |

(各大会でのポイント)

	大会名	1位	2位	3位	ベスト8	ベスト16
1	中体連地区総体	15	12	9	7	4
2	カデット地区13歳以下	10	8	6	4	2
3	カデット地区14歳	10	8	6	4	2
4	地区新人戦	10	8	6	4	2
5	オール田川予選	10	8	6	4	2
a	地区ホープス	10	8	6	4	
b	地区カブ	4	2	1		
c	地区バンビ	1				
d	地区ホープス選手権	10	8	6	4	
e	オール田川予選	10	8	6	4	
1-1	中体連県総体	20	16	12	8	4
2-1	カデット県13歳	20	16	12	8	4
3-1	カデット県14歳以下	20	16	12	8	4
	北ブロック大会	14	12	10	8	4
4-1	新人県大会	20	16	12	8	
a-1	県ホープス	14	12	10	8	
b-1	県カブ	10	8	6		
c-1	県バンビ	3	1			
d-1	県ホープス選手権	16	12	8	4	2

* 東北大会でベスト8 全国大会でベスト16ランキング以内に入った選手には県大会一位のポイントを与えるものとする。

(小学部)

1. HKB 県選手権予選会

- * 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。
- * 県大会推薦が決まっている選手は決勝トーナメントからの出場とする。
但し、参加者全員が代表になる場合は予選から試合を行う場合がある。

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 前年度のポイントが高い選手から上位に置き組み合わせを行うが、予選リーグによる試合で上位2位までが決勝トーナメントに進む試合の場合はチーム同士のバランスを考慮し、配置を変更する場合がある。
 - 2 同一所属の選手がいる場合(トーナメントでの試合の場合)
 - (1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。
 - (2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。
- *但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。
- 3 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。
 - 4 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

2. 山形県ホープス卓球大会(団体の部)

- 1 各チームから申し込みをした選手の前年度のポイントを合わせ、人数で割ったポイントが高いチームから順に上位とする。

例	1	Aさん	10
	2	Bさん	10
	3	Cさん	5
	4	Dさん	0

25ポイント / 4人 = 6.25ポイント
- 2 予選リーグ 決勝トーナメント方式で行う。
- 3 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

3. ホープス選手権 予選会

- * 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。
- * 県大会推薦が決まっている選手は決勝トーナメントからの出場とする。
但し、参加者全員が代表になる場合は予選から試合を行う場合がある。

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 前年度で3位入賞者
 - 2 今年度のポイントが高い選手から上位に置き組み合わせを行うが、予選リーグによる試合で上位2位までが決勝トーナメントに進む試合の場合はチーム同士のバランスを考慮し、配置を変更する場合がある。
 - 3 同一所属の選手がいる場合(トーナメントでの試合の場合)
 - (1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。
 - (2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。
- *但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。
- 4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。
 - 5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

3. オール田川予選 シングルス

* 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。

シードの決め方は以下の順とする。

1 前年度で3位入賞者

2 今年度のポイントが高い選手から上位に置き組み合わせを行うが、予選リーグによる試合で上位2位までが決勝トーナメントに進む試合の場合はチーム同士のバランスを考慮し、配置を変更する場合がある。

3 同一所属の選手がいる場合(トーナメントでの試合の場合)

(1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。

(2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。

*但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。

4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。

5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

4. カデット13歳以下

* 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。

* 1部 2部制とし1部は県大会に参加を希望する者、
2部は中学生の初心者のみ(本年度4月以降に始めた選手)とする。
小学生の参加はすべて1部とする。

シードの決め方は以下の順とする。

1 前年度で3位入賞者

2 今年度のポイントが高い選手から上位に置き組み合わせを行うが、予選リーグによる試合で上位2位までが決勝トーナメントに進む試合の場合はチーム同士のバランスを考慮し、配置を変更する場合がある。

3 同一所属の選手がいる場合(トーナメントでの試合の場合)

(1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。

(2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。

*但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。

4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。

5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

(中学部)

1. 中体連 地区予選

* 予選リーグを行うかどうかは中学部で決定するが、
基本的には予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。
スーパーシードは適用しない。

条件

- 1 シード ベスト16を決める
- 2 第4シードまでについては前年度 中学校のポイントが高い選手4名とする。
- 3 前年度の中学と小学生のポイントが高い選手をシードとする。
- 4 同一所属の選手がいる場合
 - (1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。
 - (2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。
- *但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。
- 5 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。
- 6 上記の項目で処理できない場合は、競技部会等の競技による。

* 前年度県新人戦でベスト8に入った選手は自動的に翌年の中体連県大会で8シードに入るため考慮してシードを決める。

2. カadet14歳以下

* 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。

条件

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 今年度のポイントが高い選手から上位とする。(地区中体連・県大会)
- 2 前年度のポイントが高い選手を上位とする。
- 3 シードは代表により変更可能とする。
(基本は8)
- 4 同一所属の選手がいる場合
 - (1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。
 - (2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。
- *但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。
- 5 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。
- 6 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

2. 新人戦 地区予選

- * 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
尚、順位決定を行うかどうかは組み合わせ会議で決定する。
- * 1、2年オープンの部は北ブロックへの代表決定戦とし、
1年の部は地区大会のみとする。
スーパーシードは適用しない。

条件

シードの決め方は以下の順とする。

- 1, 2年オープンの部
- 1 今年度のポイントが高い選手から上位に置く
- 2 シードは代表により変更可能とする
(基本は8)

3 同一所属の選手がいる場合

(1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。

(2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。

*但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。

4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。

5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

3. オール田川予選

- * 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。
代表者数は規定の枠を若干名であれば超えても問題なしとする。

条件

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 今年度のポイントが高い選手から上位に置く
- 2 シードは代表により変更可能とする

3 同一所属の選手がいる場合

(1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。

(2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。

*但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。

4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。

5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

(一般の部)

1. 国体予選

* 基本的に予選リーグを行い、決勝・代表決定はトーナメントとする。

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 前年度で3位入賞者
- 2 前年度のオール田川の結果を参考とする。
シードは代表により変更可能とする
(基本は8)
- 3 同一所属の選手がいる場合

(1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。

(2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。

*但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。

4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。

5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

2. オールジャパン地区予選(シングルス・ダブルス)

* 参加人数によりリーグ戦かトーナメントかを検討する。

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 前年度でベスト8位
- 2 前年度のオール田川・今年度の国体予選の結果を参考とする。
高校生は今年度の地区総体・国体予選を参考とする。
中学生は中体連地区大会を参考とする。
シードは代表により変更可能とする
(基本は8)
- 3 同一所属の選手がいる場合

(1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。

(2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。

*但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。

4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。

5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

3. オール田川本戦(シングルス)

- * 参加人数によりリーグ戦かトーナメントかを検討する。
基本は予選リーグ戦の場合は 決勝トーナメントとする。
(予選リーグの人数は参加人数により決める)
決勝トーナメントには予選1位又は2位が進める。
(参加人数によりどちらにするか決定する)

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 前年度でベスト8位
基本シードは16とするが、参加人数により変更する場合がある。
 - 2 今年度の一般・高校・中学の結果を参考とする。
 - 3 同一所属の選手がいる場合
 - (1)シード内 4名以内の時は、準決勝まで対戦しない。
 - (2)シード内 5名以上の時は、3名のゾーンで準々決勝まで対戦しない。
- *但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。
- 4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。
 - 5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。

4. オール田川本戦(ダブルス)

- * 参加ペア数によりリーグ戦かトーナメントかを検討する。
基本は予選リーグ戦の場合は 決勝トーナメントとする。
(予選リーグでのチームは参加ペア数により決める)
決勝トーナメントには予選1位又は2位が進める。
(参加ペア数によりどちらにするか決定する)
* ダブルスの場合は同じペアでの結果を優先とするが、一人一人のシングルスでのポイントを持っているチームを上位に置く。

シードの決め方は以下の順とする。

- 1 前年度でベスト8位
基本シードは8とするが、参加チーム数により変更する場合がある。
 - 2 今年度のオールジャパンダブルスの結果を参考とする。
 - 3 同一所属の選手がいる場合
 - (1)シード内 4ペア以内の時は、準決勝まで対戦しない。
 - (2)シード内 5ペア以上の時は、3ペアのゾーンで準々決勝まで対戦しない。
- *但し、予選リーグから決勝トーナメントに2名以上が進む場合は該当しない。
- 4 各チームからの申し込みで上位を優先に盛り込む。
 - 5 上記の項目で処理できない場合は、組み合わせ会議で判断する。